

菊地 時子

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

能代市地域公共交通網形成計画

質 高齢者の免許返納後の足の確保に、巡回バスの逆回りの要望や、巡回バスが通っていない地域からの要望など、多数寄せられている。地域の課題や実情に合わせた計画、住民とつくり上げる計画にすべきでは。

答 能代市地域公共交通網形成計画は、平成23年に策定した能代市公共交通戦略をブラッシュアップする形とし、アンケート調査で寄せられた市民の御意見等を踏まえながら、策定することとしている。また、実際に事業を実施する際には、説明会等を通じて、地域の皆様の御意向を伺いながら進めていく。

公の施設の使用料

質 公民館利用者から、使用料負担が重い、趣味や学習が続けられない、との声がある中、行財政改革では消費税値上げによる使用料への転嫁を検討とのこと。利用者の願いからかけ離れた見直しでは。

答 今回の使用料の見直しは、施設の維持管理経費や県内同種施設の使用料、利用者の負担割合等、さまざまな要素を勘案し、総合的に検討することから現時点では、使用料の設定がどのようになるのか見込めない状況であるが、当初から値上げを想定しているものではない。

その他の質問事項

- 学校給食
- 地区公民館の老朽化・バリアフリー化

落合 康友

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

教職員の過重労働解消のための対策

質 県教委は教職員の多忙化防止計画を7年ぶりに改定。児童の豊かな教育環境と、教員の人らしい生活と働き方を確立するため、県と市で十分に連携をとって多忙化防止実現に向け、邁進してほしい。

答 今年度、各種支援員を増員し協働体制を強化し、調査・報告の軽減や学校訪問の回数を減らす等、事業の見直しを進めている。部活動指導は、夏以降、週当たりの休養日を拡大することとしている。また、市校長会と教育委員会による多忙化防止協議会を開催し、実効性のある具体的な解消策を打ち出していきたい。

全国学力・学習状況調査

質 当調査が自治体間競争に傾斜し、過剰な過去問題練習に没頭し、本来の実施趣旨から逸脱している全国的事例の問題を以前取り上げたが、当調査の実施にかかわる業務が多忙化の一因になっていないか。

答 過去問題への取り組みは、普段のテスト形式と異なる問題形式になれるために、ある程度は必要と考えている。児童生徒や教職員にとって過度な負担にならないよう、今後とも指導していく。また、テストの結果を分析し、事後の指導に役立てるため行ってきた自校採点の必要性については、教職員の多忙化解消を考え、見直しを検討したい。

その他の質問事項

- 持続可能なまちづくり
- 今後の子育て支援の方針
- 夏季休暇中の学校閉庁日の実施

小林 秀彦

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

高校生世代までの医療費の無料化

質 現在、医療費の助成については、人口増施策や子育て支援の充実の一環として広がってきている。本市においても中学生まで実現している。今後は全ての高校生世代まで医療費の助成を拡大すべきでは。

答 アンケート調査や市の財政状況について勘案し、他市町村の取り組みも参考にした結果、平成31年4月から市民税所得割の非課税世帯を対象に、高校生世代まで医療費無料化を実施することとした。全ての高校生世代まで医療費の助成を拡大すべき、とのことだが、現在、新たな子育て支援策も検討していることから、現時点では難しいと考えている。

種子法廃止による影響と対策は

質 種子法が廃止されたことにより、種子の値上がり、品質の低下、安全性、外国の大手種苗会社の参入による独占化等への危惧など、不安の声が出ている。種子法廃止による対策は考えているか。

答 県では主要農作物種子基本要綱を施行し、引き続き生産者に優良種子を安定供給するとしている。また、あきた白神農業協同組合によると、現在、米や大豆の種子価格に影響は出ていないとのことだが、市としては、今後の動向等を注視しながら、国・県に対し、引き続き主要農産物の優良種子の安定供給のため万全を期すよう、働きかけていく。

その他の質問事項

- 廃校後の校舎等の利活用
- 空き家対策
- 大雨被害